

◎第4学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区の学力調査によると、「言葉の学習」の問題で区の平均を5.5ポイント上回っている。 ●「物語の内容を読み取る」と「作文」の問題は区の平均値を10ポイント前後下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習の書くことタイムを活用し、定型文を使いこなしていけるようにする。 図書館を活用した学習を取り入れ、様々な物語文に興味をもてるようにする。 一つの段落だけに着目して詳しく読むのではなく、段落と段落とを関係付けて文章全体の内容を捉えられるようにする。 ☆様々な考え方に触れられるよう、本を読む機会を増やしてください。	
社会	○興味をもって学習に取り組んでいる児童が多い。今までの経験をもとに発言できる。 ●調べる学習では、資料から分かることを読み取る力が弱く、ノートに書けない児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜだろう」と疑問に思ったことについて予想を立てたり、小グループで話し合ったりすることで、自分の考えをもつことができる時間を設ける。 グラフや表などの資料から何をどのようにどのように読み取るのか、丁寧に指導を行う。 学習問題と照らし合わせながら、自分の考えをもたせるようにする。 ☆新聞や本などに出ている資料をもとにどのようなことが分かるか考える機会が増えると、資料を読み取る力が付きます。	
算数	○区の学力調査によると、「計算のふく習」「大きい数・小数・分数」「円と球・三角形」の問題で区の平均を上回っている。 ●「かけ算、わり算」「時刻と時間」「□を使った計算」「ぼうグラフと表」の問題が区の平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルや宿題のドリル等を活用し、基礎問題を繰り返し解くことにより、基礎学力の定着を図る。 日常生活の中で量や時間を意識させるように声かけし、日常的に比べたり測定したりする習慣を付けさせることで、量や時間の感覚を体感的につかませていく。 ノート指導を徹底し、数字を丁寧に書く、線を丁寧に引く、早く見やすく書くよう指導していく。 ☆時計を読み時間を求めたり、会話の中で時間を尋ねたりしながら、意識して活用できるよう声かけしてください。 ☆宿題等で間違えたところは、必ず直しをさせて定着を図ってください。	
理科	○興味をもって実験や観察ができる児童が多い。 ●根拠をもって予想を立てることや、実験の結果から分かったことを考察することが課題である。 ●観察、実験したことを知識として覚えることに課題をもつ児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験では、記録を分かりやすく書く指導をし、知識として覚えなければいけない部分は、確実に指導する。 実験の結果だけでなく、予想と比較して分かったことを書けるように指導する。また、実験後の学び合いの時間を大切にする。 ☆科学的なものの見方を育むことができるよう、生活の中での身近な自然の変化について、「どうしてだろうね。」などと投げかけ、会話をふくらませてください。	
音楽	○積極的、意欲的に音楽活動に取り組む姿が見られる。 ●自分なりの思いはあるが、表現することにためらいを感じている児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 表現に関して、友だちの意見を取り入れて試してみたり、考えて表現したことを認め合ったりする活動を取り入れる。 ☆授業で扱った曲や、日常流れている音楽について話題にし、お子さんと一緒に楽しんでください。また、楽器で困っていることがあれば、できるだけ練習に付き合ってください。	
図工	○構想を立て、自分らしい表現ができる児童が育ってきている。 ●早く作りたいという気持ちが先行し、丁寧さがおろそかになる児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 作品を例示し、活動の具体的なポイントを絞ることで、見直しをもって活動できるようにする。 ☆お子さんが図工の授業で経験したことや、展示された作品のことなどを話題にして、共感してあげてください。また写真や映像、衣服や食べ物など身近に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってください。	
体育	○体力テストによると男女ともに「上体起こし」が全国平均より高い。 ●男子は「20mシャトルラン」、女子は「反復横とび」「立ち幅跳び」が全国平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 持久走や縄跳びなど、体育的活動への参加を促す。 ジグザグ走・号令による前後左右のステップや足の踏み換えなどの瞬発力を高める運動を取り入れる。垂直跳びや片足ケンケンも行う。 ☆運動を習慣付けるために、外遊びをするように声かけをしてください。また、休みの日などに、ご家族で体を動かして遊ぶ機会をつくってください。	